

報道関係者各位

ゲーム業界初 かたまりだましい 「パックマン」「塊魂」をニューヨーク近代美術館が収蔵

株式会社バンダイナムコゲームス

社長：大下 聡

本社：東京都品川区東品川4-5-15

資本金：100億円

株式会社バンダイナムコゲームスが開発・販売した「パックマン」「塊魂」を、ニューヨーク近代美術館(MoMA)が収蔵することを決定しました。ビデオゲーム分野では初めて「パーマネントコレクション」に認定され、MoMAでは2013年春から1年間の予定で展示する計画です。

バンダイナムコゲームスでは、両コンテンツに共通する、「シンプルで普遍的なゲームルール」「当時のゲームトレンドに革新をもたらし、今なお世代・国籍・時代を超えて愛される独創的なゲームデザインや世界観とキャラクター」が収蔵につながったと考えています。

今後も、多くのお客さまに「夢・遊び・感動」を届けるために、ゲームのみならず、エンターテインメント業界をけん引するコンテンツの企画・提供を進めて参ります。

<収蔵物>

「パックマン」「塊魂」いずれも、ゲーム本体および企画書など開発時の資料

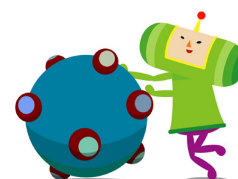
<「パックマン」とは>

1980年に発売したアーケードビデオゲームです。米国での人気は日本国内をはるかに上回り、キャラクターグッズは400種類以上が販売され、放映されたテレビアニメの最高視聴率は56%を記録するなど、“パックマンフィーバー”といわれる空前のブームを引き起こしました。2005年には“最も成功した業務用ゲーム機”としてギネス・ワールド・レコード社より認定を受けました。



<「塊魂」とは>

雪だるまを作る要領で塊を転がし、フィールドにあるさまざまな“モノ”を巻き込んで大きくしていく3Dアクションゲームで、2004年3月に家庭用ゲームソフトとして登場しました。“国境も年齢も性別も超えて、誰もが楽しめる”をコンセプトに作られ、シンプルで独創的なゲームデザインが反響を呼びました。ゲームソフトとしては史上初の「グッドデザイン賞」を受賞したほか、国内外から数多くの賞を受賞し、業界の壁を越えて高い評価を得ています。また「塊魂」は、2012年7月29日～11月5日までMoMAにて開催中の展覧会『Century of the Growing by Design』でも展示されていました。



MOMA 公式サイト <http://www.moma.org/>

開館時間などの日本語ページ http://www.moma.org/visit/infoplans/japanese_plan#generalinfo_ja

以上